環境性、省エネ性に優れた

「LPガス」の活躍の場はますます広がっている。

次世代型ホームエネルギーとして さらなる活躍が期待される「LPガス」

最近では省エネ性に優れた「LPガス」の高効率機器が続々登場している。

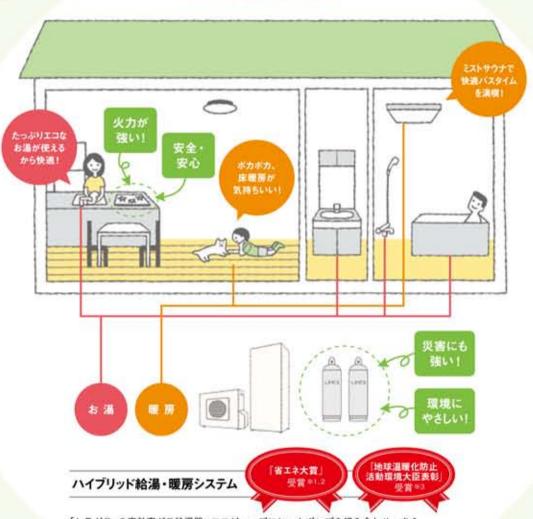
たとえば、「LPガス」のエコジョ ーズと電気のヒートポンプを組み合 わせた「ハイブリッド給湯・暖房シ ステム」もそのひとつ。

家庭のエネルギーの約52%(※) は「お湯」と「暖房」で占められるた め、「LPガス」と電気を効率よく使 い分けることで、高い省エネ性を実 現することができる。仕組みとして は、キッチンや洗面で使うお湯は主 に効率のよいヒートボンプで沸か し、貯めておいたタンクから使用。 バスルームの浴槽へのお湯はりな ど、大量にお湯を使うときは瞬発力 に優れたエコジョーズで給湯をサポ ート。湯切れがなく、瞬時に十分な 給湯をかなえてくれる。つまり、「L Pガス」と電気の"いいとこ取り"で 高い省エネ性を持つのが「ハイブリ ッド給湯・暖房システム」なのだ。

環境性や省エネ性、さらに災害にも強い「LPガス」。高効率機器の普及で、省エネ性に優れた快適で便利な暮らしを実現する次世代型ホームエネルギーとしての期待は高まるばかりだ。

※資源エネルギー庁「エネルギー自書2014」より

「LPガス」でかなえる 快適でエコな暮らし



「L Pガス」の高効率ガス給温器・エコジョーズにヒートポンプを組み合わせ、さら に高効率化。「L Pガス」と電気を暮らしや時間帯に合わせて最適に使い分けなが ら、少ないエネルギーで給湯と暖房をまかなってくれる。しかも、「ガス温水床暖房」 や「ミストサウナ付き浴室暖房乾燥機」などと組み合わせることもできる。

申1 リンナイ株 平成25年度「経済産業大臣曹」受賞。 ※2 株ノーリツ 平成26年度「省エネルギーセンター会長賞」受賞。

「LPガス」の快適・エコ設備

※3 株ノーリツ 平成27年度受賞。



ガス温水床暖房

足下からポカポカ、部屋全体をムラなく暖めてくれるので 快適。ホコリが舞い上がらないのでとてもクリーン。子供 やお年寄りも安心だ。



エコジョーズ

排気中の潜熱を利用することで最大約95%という高い 熱効率を達成した、高効率ガス給湯器。



ミストサウナ付き浴室暖房乾燥機

天気や時間を気にせず洗濯物を干すことができ、カビも 抑制。ミストサウナを楽しむこともできる。



エネファーム、エコウィル

「LPガス」を使って電気とお湯を一緒につくるシステム。エコな電気とお湯を家中に巡らせることで、より快適で便利な暮らしを実現することができる。

どうする? 次世代のホームエネルギー??

わが家はゼッタイ LPガス がいい!!

わが家の頼れる エネルギー

LPガスの ちから

vol 3



ホームエネルギー 「LPガス」の魅力!!



何といっても 災害にも強い

「LPガス」は容器に充填し、 各家庭に配送をする「分散型 供給」。 災害時なども迅速に 復旧させることができる。

強い火力で料理もラクラク

LPガスコンロは炎の力で鍋を包み込む ように加熱するので、加熱ムラが生じに くく、炒め物なども短時間 で一気に炒めることが できる。鍋を持ち上げ て、あおりながらの調 理も可能だ。

安全・安心の確保に全力

「LPガス」はマイコンメータなど、安全器具・安全装置付きガス器具の普及・運動を推進し、総合的な安全システムを構築。たとえば、2008年からの「Siセンサーコンロ」音及によりガスコンロを原因とする火災件数は減少している。

環境にやさしい

「LPガス」は石油や天然ガスなどの中で相対的にCO2(二酸化 炭素)の排出量が少なく、ク リーンなエネルギーなので、 地球温暖化防止に貢献でき る。また、高効率機器の普及 により環境貢献度も高まる。



地球温暖化など環境問題が深刻 化するなか、家庭で使用するエネ ルギーにも安全性や利便性ととも に、これからはさらに高い環境性 や省エネ性が求められる。「LPガ ス」の魅力を3回シリーズで紹介 する第3回目は、「LPガス」の次 世代型ホームエネルギーとしての 可能性について考えてみる。

使い勝手がよく、環境性に優れ、 災害にも強い「LPガス」

私たちが毎日家庭で使っているエネルギーは、地球環境と深い関係がある。暮らしが豊かになるにつれ消費されるホームエネルギーは増え続け、地球温暖化などを招く一因にもなっている。

地球環境を守るため、そして将来 の日本のためにも次世代型ホームエ ネルギーをどう考えるべきか…。私 たち一人ひとりが常に意識し、行動 することが求められている。

そこで、あらためて注目したいのが「LPガス」だ。強い火力や高い安全性など、使い勝手のよいホームエネルギーとして知られる「LPガス」は、シリーズ第1回でも紹介した通り、化石エネルギーの中で相対的にCO₂(二酸化炭素)排出量が少ないクリーンなエネルギーなのだ。

また、万が一の災害にも強いことも「LPガス」が次世代型エネルギーとして注目される理由だ。可搬性に優れ、迅速な復旧が可能な「LPガス」は、国のエネルギー基本計画においても災害時にはエネルギー供給の「最後の砦」と位置づけられている。